

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年11月2日発行

— 2017.10.23～2017.10.29—第43週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第40週	第41週	第42週	第43週
水痘			1 0.20		2 0.67	1 0.20		7 0.26	11 0.19	846				
流行性耳下腺炎		2 0.20			1 0.33			4 0.15	7 0.12	567				
百日咳									0 0.00	0				
感染性胃腸炎	28 5.60	39 3.90	6 1.20	15 7.50	5 1.67	9 1.80	1 0.50	138 5.11	241 4.08	12,016	◎	◎	◎	◎
手足口病	19 3.8	30 3	2 0.40	5 2.5	3 1	45 9	2 1	61 2.26	167 2.83	6,945	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑							2 1.00	3 0.11	5 0.08	194				
突発性発しん		3 0.30	2 0.40		3 1.00	1 0.20		17 0.63	26 0.44	1,388	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		2 0.2			1 0.33	1 0.20		4 0.15	8 0.14	992	○	レ		
インフルエンザ	5 0.63	4 0.27	3 0.38			16 2.00		24 0.55	52 0.55	27,413	レ			○
咽頭結膜熱	1 0.20	6 0.60		2 1.00		1 0.20		4 0.15	14 0.24	1,455				
流行性角結膜炎	1 1.00	1 0.33						1 0.17	3 0.25	129				
急性出血性結膜炎						1 1.00			1 0.08	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	21 2.10	2 0.40	3 1.50	3 1.00	24 4.80	2 1.00	28 1.04	91 1.54	6,151	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	3				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎			4 4.00	1 1.00		1 1.00	1 1.00	4 0.80	11 0.92	248				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	22 4.40	7 0.70		1 0.50		1 0.20	2 1.00	20 0.74	53 0.90	2,233	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	2	3	2	1	2		4					
	川崎病	1												
	不明発しん症								4					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名
塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性1名
気仙沼管内 男性1名(第42週)
栗原管内 女性1名
仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性1名、女性1名

5類感染症: 梅毒

塩釜管内 男性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南、石巻、仙台管内で警報継続中

[伝染性紅斑]

気仙沼管内で警報継続中

[急性出血性結膜炎]

石巻管内で警報値を超えた

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		
	第40週採取分 (10.2～10.8)	中 間 報 告 第41週採取分 (10.9～10.15)	第42週採取分 (10.16～10.22)
RSウイルス	1件	2件	2件
エンテロウイルス	1件	0件	0件
ライノウイルス	2件	3件	0件
パラインフルエンザウイルス(1型)	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス(4型)	2件	0件	0件

* RSウイルス、パラインフルエンザウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【急性出血性結膜炎】

今年初の患者報告がありました。主な症状は、突然の強い目の痛み、異物感などで始まり、眼の結膜(白目の部分)に出血を起こすのが特徴の結膜炎です。エンテロウイルス70やコクサッキーウイルスA24変異株に感染することで発症します。これらのウイルスはヒトからヒトに感染するので、感染予防のため、めやに、分泌物などに触れないようにする、手洗いを励行し、洗面具やタオルなどの共用はしないなどの対策を行いましょ

宮城県定点週報告対象疾病の推移

